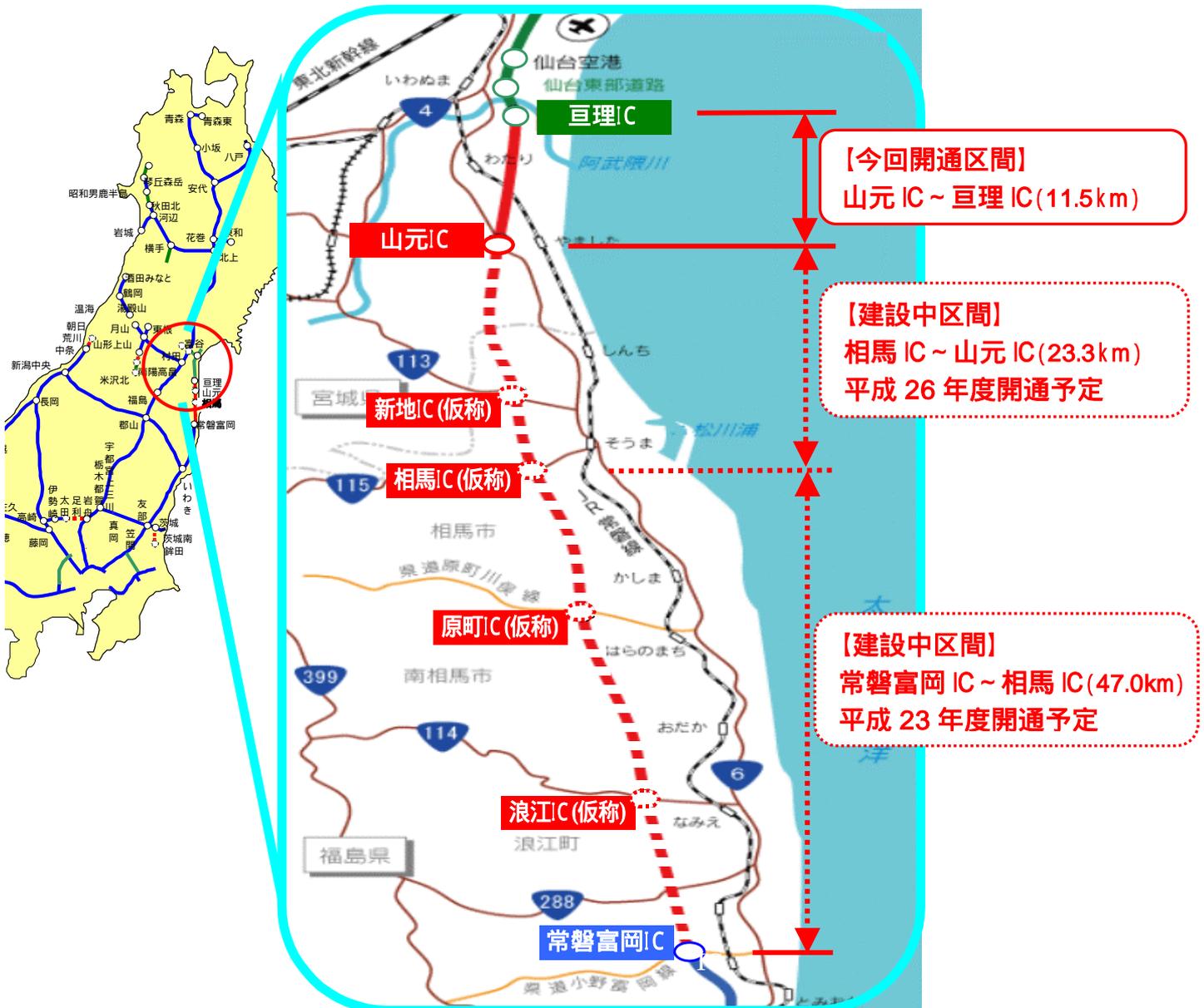


開通区間の概要

平成21年9月12日、山元IC～亶理IC間(11.5km)が開通します。

- ・常磐自動車道の未開通区間約82kmのうち11.5kmが開通し、残る約70kmの早期開通が期待されています。
- ・山元IC～亶理IC間は、常磐自動車道としては宮城県内で初めての開通となり、仙台東部道路と接続する事により、宮城県南部、福島県北部から仙台圏へのアクセスが向上します。



車線数	: 2車線
設計速度	: 100km/hr
道路規格	: 第1種第2級B
事業の経緯	平成 3年 12月 20日 基本計画
	平成 8年 12月 27日 整備計画
	平成 10年 4月 8日 施行命令
	平成 13年 3月 22日 工事着手

常磐自動車道の整備効果

常磐自動車道は、関東地方と東北地方南部の太平洋沿いの主要都市を結び、産業、経済、文化の発展、物流の効率化に資する路線であり、東北道及び磐越道とのネットワーク化により大きな整備効果が図られ、東北道の事故・災害時の代替機能、更には医療の高度化などを支援する上で早期整備が望まれています。
 高速道路網ネットワークの形成は、高い信頼を地域に与え、暮らしを支えるライフラインとして期待されています。

東北地域の高規格道路網が強化されます。

- ・首都圏と仙台圏を結び、東北道、磐越道、北関東道と共にラダー型のダブルネットワークを形成します。
- ・都市間交流の拡大・活性化、企業誘致・地域産業の支援・発展に寄与します。
- ・国道6号の渋滞緩和、東北道の事故・災害・異常気象発生時の代替機能を果たします。



ラダー (英 ladder)
 : はしごの意味

高速バスの利用により首都圏が身近になり、地域交流の拡大・活性化が期待されます。

- ・高速道路整備に合わせ、沿線都市間を結ぶ高速バス路線が多数開設され利用者が増加しています。常磐自動車道を利用した高速バスの運行は、東京、仙台、主要都市との交流活性化に寄与するものと期待されます。



(現在) いわき～仙台間 磐越道 - 東北道ルート

2時間45分 (4往復/日)

(将来) いわき～仙台間 常磐道ルート

2時間12分 (33分短縮)

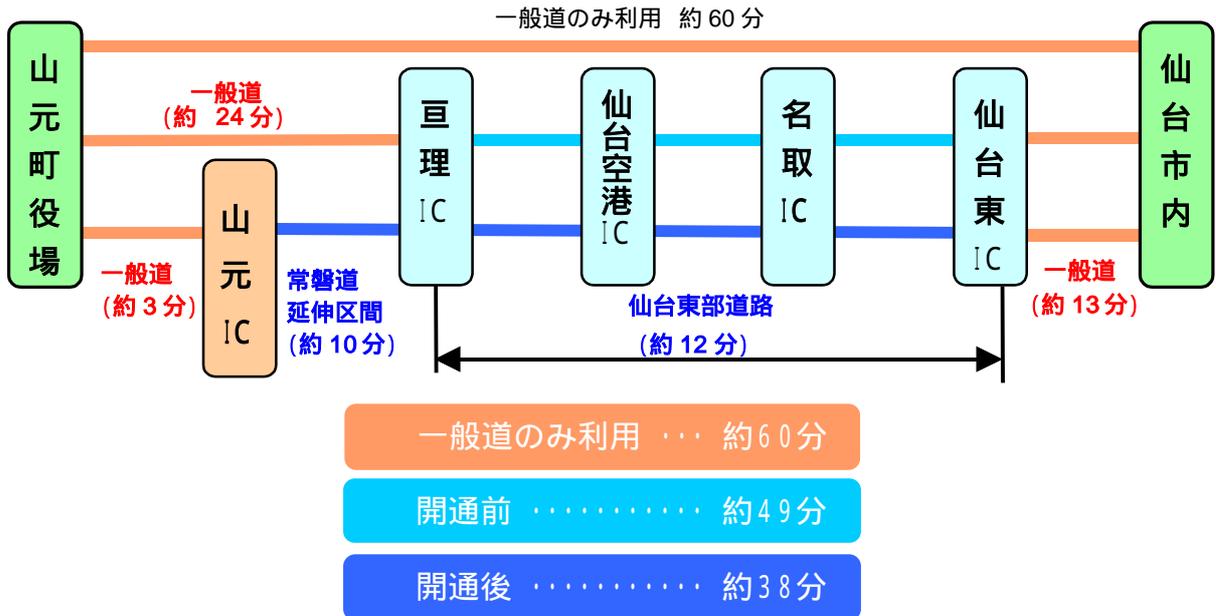


山元IC ~ 亘理IC間の整備効果

宮城県南部から仙台市内までの旅行時間が短縮されます。

- ・今回の開通により、山元町から仙台市内への旅行時間が11分短縮されます。
- ・第三次救急医療施設への搬送時間が短縮され、地域の医療環境が向上します。

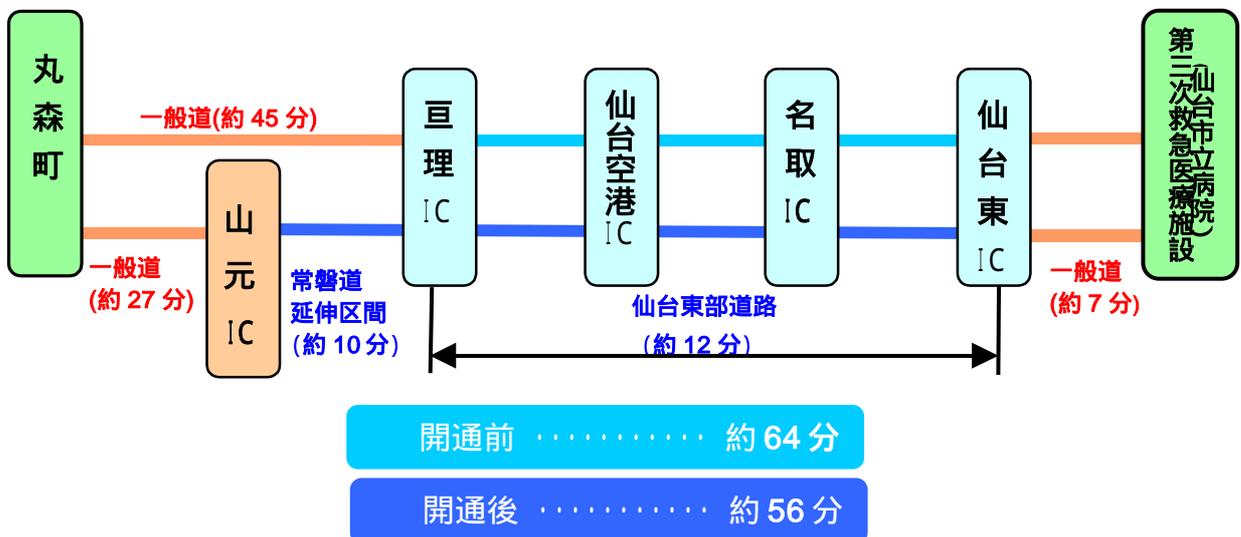
山元町中心地(役場)から仙台市内までの旅行時間の短縮



山元町役場から仙台市中心街へ移動する場合は、一般道のみで移動した場合と比較して、旅行時間は約22分短縮することとなります。

宮城県南地域から第三次救急医療施設までの搬送時間の短縮

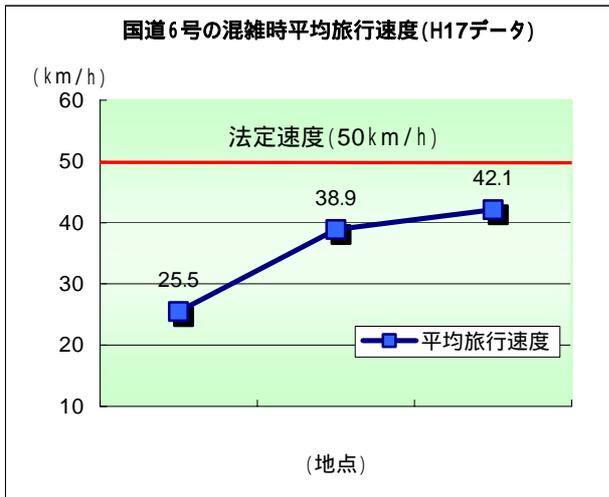
丸森町から仙台市内の第三次救急医療施設への患者の搬送時間は、現在より約8分短縮され、1時間以内の搬送が可能になりました。



山元IC ~ 亶理IC間の整備効果

一般道路の交通混雑の緩和が期待されます。

- ・国道6号の交通が常磐道に転換することで、亶理市街地の朝夕の通勤等による慢性的な渋滞の緩和が期待されます。
- ・今回、新設される山元ICは国道6号線に近接することにより、仙台都市圏における高速道路の利便性が向上します。



国道6号の交通障害の状況

- ・左図は、国道6号の区間別の平均旅行速度を現したものである。山元町から岩沼市方面に向かって平均旅行速度が低下している。

(国土交通省：H17年度データ)

山元IC ~ 亶理IC間の整備効果

仙台近郊の観光地・商用地までのアクセスが向上します。

・宮城県南部・福島県北部からの仙台近郊の「観光地」「商用地」へのアクセスが向上し、利用者の増加が見込まれます。また、東北自動車道とのネットワークの形成により、工業団地の企業誘致及び物流の効率化が図られます。

第二仙台北部中核工業団地



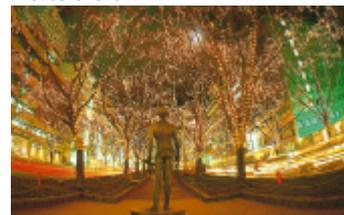
泉プレミアム・アウトレット



仙台城址



仙台市内イベント



光のページェント



定禅寺ストリートジャズフェスティバル
名取エアリ



松島



仙台港



三井アウトレットパーク仙台港



仙台空港



岩沼矢野目工業団地



八重垣神社



写真提供: 宮城県観光課
宮城県土地開発公社

山元IC ~ 亶理IC間の環境保全への取組み

新エネルギーの活用による道路作りに取り組みました。

- ・社会実験¹として、山元ICの盛土のり面を利用した太陽光発電設備を導入し、山元IC料金所で必要な電力の一部として使用します。(100kw規模 パネル面積 750 m²)
- ・電力会社と連系することにより、発電電力を無駄なく活用します。

【山元 IC 太陽光発電設備】

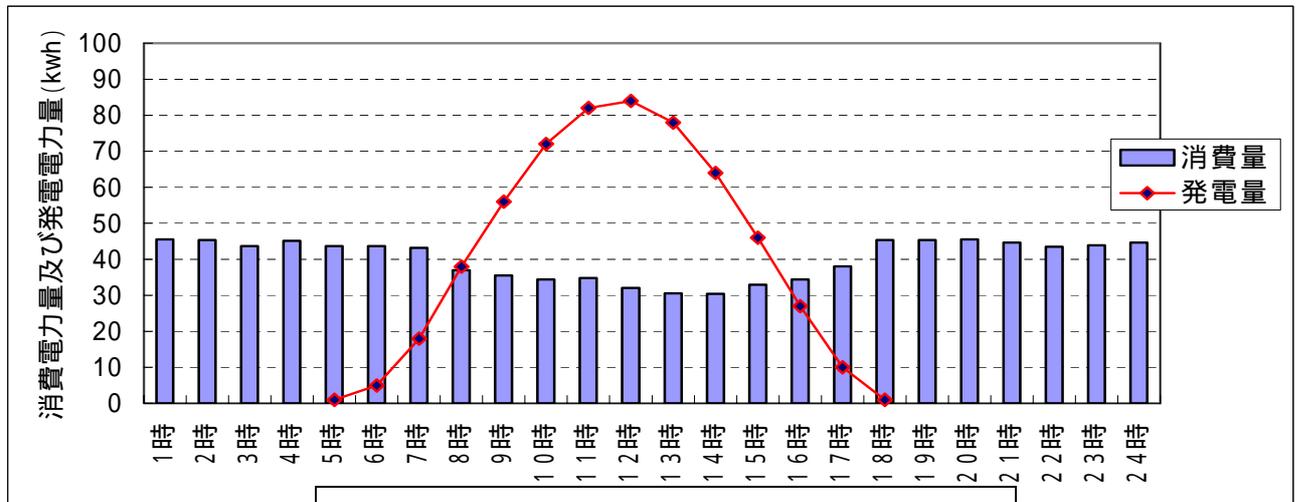


(太陽光パネル設置イメージ)

【電力会社との連系】

太陽光発電は、太陽の出ている日中、特に日の高い正午ごろに発電量がピークとなりますが、夜間の日照がない場合はもちろん、雨天時などの日照が確保されない場合には、発電電力が少なくなります。

これら太陽光発電の特徴を踏まえ、電力会社と連系することによって、晴天時の日中に使用する消費電力量より多く発電された電力は、電力会社の配電線に供給し、夜間など消費電力が不足する際には、電力会社の配電線から供給を受けることとします。この需給調整により発電した電力を無駄なく活用できるようにします。



【太陽光発電における発電量と消費電力との関係】

1：平成 21 年度補正予算として実施される「低炭素革命」の一環として実施する社会実験

山元IC ~ 亘理IC間の環境保全への取組み

自然・地球環境に配慮した道路作りに取り組みました。

- ・全線の盛土のり面を早期に樹林化することで、地球温暖化防止に貢献します。
- ・他工事で発生した樹木をチップ化して、盛土のり尻部の防草対策に有効利用しました。
- ・他工事で発生した防護柵(ガードレール)を亜鉛メッキ処理し再利用しました。(12.2km)

【盛土のり面の樹林化】



【樹木チップを使用した防草対策】



【発生材(防護柵)の再利用】

